



凡 例

輪郭構造
 滑り崖と側方崖
 新鮮または開析されていない冠頂をもつ滑り崖
 部分的に開析されている冠頂をもつ滑り崖
 冠頂が著しく開析された滑り崖
 冠頂が丸味をおびて不明瞭になった滑り崖
 開析されて無くなってしまった冠頂・滑り崖の推定復元位置
 共通の冠頂をもち、互いに反対方向を向く滑り崖
 中・緩斜の流れ懸すべり面が地表に露出し、滑り崖にあたる急崖を呈しない斜面。冠頂は尾根の反対側斜面とすべり面との交線である。
 後方崖、多重後方崖等

移動体の輪郭・境界
 後方に滑り崖があり、移動体の輪郭が不明瞭なし判定可能
 後方の滑り崖は明確であるが、移動体の輪郭の判定が困難
 滑り崖はほとんど開析されてしまったが過去の移動体の一部(不安定土塊)が残存している
 ほかの移動体や堆積物におわれた部分
 斜面体の移動の初期状態。基岩から分離していないとしても不安定域・移動域と推定される範囲
 斜面移動体かどうか判定できない山体・小丘
 脚部線・剛斜面下限

内部構造
 二次・小滑り崖。崖線の解析程度に応じて輪郭構造の場合と同様に表わす
 サブユニットの境界。内部(二次)移動体輪郭
 移動体内の小尾根
 幅の広い溝状凹地、亀裂
 幅の狭い溝状凹地、亀裂
 雁行亀裂
 縁状窪地・小谷窪地。→は谷の出口または谷底の傾斜方向
 池
 水のない窪地
 崖地の前線

移動方向等
 移動体の主移動方向
 すべり
 クリープ(進行)
 流れ・押し出し
 落石など
 前方への傾動または傾動を伴う移動とその方向
 元の斜面傾斜と逆方向へ傾動した斜面の傾斜方向

その他
 通色線
 活断層(地すべりを定位置させている顕著な新層)
 地層面等および整理・断層の走向・傾斜

行政区画 索引図

徳島県
 1. 徳島市 2. 小松島市 3. 那賀郡 4. 勝浦郡 5. 阿南市

()内は所属20万分1地形図名

1:50,000 阿波富岡

調査者 清水文健・井口 隆・大八木規夫
 by Fumitake SHIMIZU, Takashi INOKUCHI and Norio OYAGI
 LM-587